

カルタヘナ議定書に対応した国内措置のあり方に関する

検討事項（案）

- 1 生物多様性の確保の観点から、遺伝子組換え生物に関するリスク評価、リスク管理のあり方について
 - 1 - 1 生物多様性の確保にとって、生じてはならないこととは何か？
 - 1 - 2 生物多様性への影響が生じるプロセスは？
 - 1 - 3 遺伝子組換え動植物と微生物ではリスク評価の考え方の違いはあるか？
 - 1 - 4 生物多様性の確保にとってのリスク評価の考え方と手法（特に、リスク・便益評価の考え方と手法について）
 - 1 - 5 生物多様性の確保にとってのリスク管理はどうあるべきか（モニタリングの手法と体制等）

- 2 農林水産分野、鉱工業分野、科学技術分野での規制的措置について、生物多様性の確保を図る上で十分な仕組みか？